

令和 2年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報				
事務事業名	市民の提案事業	担当課	秘書課	
総合計画	政策	みんなで築くまち	計画期間	平成 5年度～
	施策	広聴と情報発信の充実	種別	任意の事務
	基本事業	広聴・情報公開の充実	市民協働	
予算科目コード	01-020101-25 単独	根拠法令・条例等		

なぜ、この事業を実施しているか？ 何をどうするための事業か？

背景（なぜ始めたのか）	内容（何の業務活動をどのような手法で行うか）
市民の市政への参加促進を目的として、まちづくりに対するアイデアや各種の提案、要望、意見等を行政に反映させるため開始した。	市民から行政に対する提案・要望を広く求め、市民のニーズを把握するとともに、市政への参加意識を高める。 提案・要望に対しては、担当課が内容を調査・検討し、市長の決裁を経て回答する。 提案・要望の聴取手段は、「私の提案」の封書、市の7施設に設置した「投書箱」、市ホームページの「ご意見・ご提案」入力フォームなどによる。 市からの回答は、原則1週間以内に提案者に対して行う。
目的及び期待する効果（誰（何）をどうしたいのか）	
市民に対し、市政に対する意見・要望を広く求め把握するとともに、市政への参加を促す。	
（参考）基本事業の目指す姿	
行政に意見や提案を伝える場や機会が十分にあることを市民が把握できるようにする。 市の施策や計画等について、市民からの意見を取り入れるなど、内容を知る（情報公開）機会を多くする。	

事業の課題認識、改善の視点（次年度にどう取り組むか）

目的達成のための課題（問題点、現状分析、課題設定）	具体的内容とスケジュール
例年10月頃に行っていた広報もりやへの「私の提案」用紙の折り込みを廃止した。これに先だち、9月25日号には投書箱や市ホームページからの「私の提案」、市長との対話についての案内を掲載した。11月上旬の時点では、折り込みを廃止したことに対する苦情等はきていないが、今後、そのような意見が届いた場合には、対応を検討する必要がある。 また、折り込み廃止に代わる市民の提案を受け場として、何らかの機会を設ける必要がある。	●投書箱やホームページからの「私の提案」の周知 （秘書課が実施する） 年に数回、広報もりや、市ホームページ等で、周知を行う。 ●新たな広聴の場の検討 （秘書課が関係部署の協力を得ながら実施する） 例えば、まちづくり協議会の会議に市長も含めた市の職員が出向き、直接、意見をお聞きするような場を設けることができないか、検討する。 ※時期については、新型コロナの影響が、ある程度見通せるようになってからが望ましい。
改善内容（課題解決に向けた解決策）	
新型コロナウイルス感染拡大の終息がなかなか見通せず、いわゆる不特定多数の方を対象とした対面による広聴の場は、実施が難しい。広聴制度自体は必要なものであるため、引き続き、投書箱や市ホームページ、市公式アプリMorinfoなどを通じた意見・要望提出の制度を、市民に周知していく。 また、例えば、まちづくり協議会の会議に同席させてもらうなど、新たな広聴の場を設けることができないか検討していく。	
次年度のコストの方向性（→その理由）	
<input type="checkbox"/> 増加 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 削減	現在も、コストとしては、私の提案管理システムの管理料のみであり、削減の余地はない新たな広聴の場については、基本的にコストがかからないような方法を模索していく。

R01年度の評価（課題）を受けて、どのように取り組んだか（R02年度の振り返り）	
R01年度の評価（課題）	R02年度を取組（評価、課題への対応）
<p>「私の提案」に寄せられる意見・要望は、各担当課への通常の問い合わせと同じもの、個人的な要望に近いものなどが大半を占めており、現状では、市民の意見を市政に反映させることで市政への参加を促すという目的から外れ、届いた意見に対して回答を作成する作業になってしまっている感がある。</p> <p>また、回答を希望している意見については、各担当課が回答を作成しているが、各担当課とそれを取りまとめる秘書課の負担も大きい。</p>	<p>例年10月頃に実施していた広報もりやへの「私の提案」用紙の折り込みを廃止した。また、折り込み廃止することから、9月25日号に投書箱や市のホームページからの「私の提案」の案内、市長との対話事業についての案内を掲載した。</p>

評価（指標の推移、今後の方向性）							
指標名	基準値（H26）	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度	目標値（R03）
提案・意見の件数（件）	662.00	210.00	164.00	151.00	225.00	278.00	0.00
	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
成果の動向（→その理由）							
<input checked="" type="checkbox"/> 向上 <input type="checkbox"/> 横ばい <input type="checkbox"/> 低下	<p>広報もりやへの「私の提案」折り込みを廃止することで費用を縮小したが、市民からの提案・意見の件数は前年度よりも増えており、費用対効果という点で一定の成果向上がみられる。</p>						
今後の事業の方向性（→その理由）							
<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 維持	<input checked="" type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止・終了	<p>私の提案に寄せられる意見・要望は、各担当課への通常の問い合わせと同じもの、個人的な要望に近いものなどが大半を占めており、市民の意見を市政に反映させる目的から外れていること、また回答作成等に係る業務の負担が多きことから私の提案事業を本来の目的とするため、事業目的の周知と合わせて回答に係る業務を改善していく。</p>					

コストの推移						
項目		H30年度決算	R01年度決算	R02年度決算	R03年度予算	R04年度見込
事業費	計	193	195	132	132	132
	国・県支出金	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
	一般財源	193	195	132	132	132
正職員人工数（時間数）		126.00	304.00	298.00	0.00	0.00
正職員人件費		526	1,247	1,206	0	0
トータルコスト		719	1,442	1,338	132	132

令和 2年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報			
事務事業名	審議会等公開制度事務	担当課	総務課
総合計画	政策	みんなで築くまち	計画期間 平成16年度～
	施策	広聴と情報発信の充実	種別 任意的事務
	基本事業	広聴・情報公開の充実	市民協働
予算科目コード	01-020101-04 単独	根拠法令・条例等	

なぜ、この事業を実施しているか？ 何をどうするための事業か？	
背景（なぜ始めたのか）	内容（何の業務活動をどのような手法で行うか）
市の施策や計画等について、その形成過程や内容を知る機会（情報公開）を設けることで、市民の市政への理解を深めてもらう。	会議開催1週間前までに、市のホームページ及び庁舎掲示板に会議開催案内を掲載する。 会議開催後、会議録及び会議資料を市のホームページに掲載する。
目的及び期待する効果（誰（何）をどうしたいのか）	
市民に対して審議会等の会議や会議録等を公開することにより、市政の透明性や公平性を高め、市民の市政への参画を促す。	
（参考）基本事業の目指す姿	
審議会等の運営の透明性を高めるとともに、会議を公開することによって市民の市政に対する理解と信頼を深め、市民が自主的・主体的に市政へ参画できる機会を多くする。	

事業の課題認識、改善の視点（次年度にどう取り組むか）	
目的達成のための課題（問題点、現状分析、課題設定）	具体的内容とスケジュール
公開した会議の開催数や傍聴者数を増加させることは難しいことから、審議会等の会議録をスピーディに市民に公開・周知することを主眼とする。	令和2年度から指標を変更する。
改善内容（課題解決に向けた解決策）	
評価の基準となる指標を次のように変更する。 公開した会議の開催数、傍聴者数 →公開した会議の会議録を開催日から1箇月以内に公表した会議数（%）	
次年度のコストの方向性（→その理由）	
<input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 削減	

R01年度の評価（課題）を受けて、どのように取り組んだか（R02年度の振り返り）	
R01年度の評価（課題）	R02年度の取組（評価、課題への対応）
会議録作成システムの活用が不十分であり、会議録を市ホームページに掲載するまで、時間を要している部署が多く見受けられた。	会議開催日から1箇月以内でのホームページ公開についての指標値が前年度比1.8ポイントの増となった。会議録作成システムが職員に活用され、作成時間の短縮と会議録公開の迅速化及び効率化が図られてきた。

評価（指標の推移、今後の方向性）							
指標名	基準値（H26）	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度	目標値（R03）
公開した会議の会議録を開催日から1箇月以内に公表した会議数（%）	0.00	0.00	0.00	18.00	26.00	44.00	0.00
	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
成果の動向（→その理由）							
<input checked="" type="checkbox"/> 向上 <input type="checkbox"/> 横ばい <input type="checkbox"/> 低下	指標値についても、2年増加の傾向にある。会議録の情報公開について迅速化を図ったことにより、会議運営の透明性を高め、市民の市政に対する理解と信頼を深めることが推進されている。今後も更に成果を向上させていく。						
今後の事業の方向性（→その理由）							
<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 維持	<input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止・終了	今後も審議会等の運営の透明性を高めるとともに、会議を公開することによって市民の市政に対する理解と信頼を深めていく。					

コストの推移						
項目		H30年度決算	R01年度決算	R02年度決算	R03年度予算	R04年度見込
事業費	計	0	0	0	0	0
	国・県支出金	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
	一般財源	0	0	0	0	0
正職員人工数（時間数）		67.00	66.00	18.00	0.00	0.00
正職員人件費		280	271	73	0	0
トータルコスト		280	271	73	0	0